

関西女子短期大学の学習成果

全学	保育学科	養護保健学科	歯科衛生学科	医療秘書学科
1.自らが修得した知識や技能を生かした専門職に就くことにより社会に貢献できる。	1-1.社会人としてのマナーと自己管理能力を身につけている。 1-2.保育の実践力を身につけている。	1-1.教員としての倫理観をもち、自主的・自律的に取り組むことができる。 1-2.養護実習やボランティア活動の体験を通して、実践的指導力を身につけている。	1-1.①いつも笑顔であること、②いつも挨拶すること、③いつも時間を守ること、④いつも誠実であること、⑤いつも最善を尽くすこと、の「5つの誓い」に則った行動ができる。 1-2.ライフステージにおける口腔状態や生活状態を考えた計画的な口腔保健活動が実施できる。 1-3.個人のセルフケア並びに集団及び地域の口腔保健の学習支援に最も有効な方法を説明できる。	1.医療秘書として社会に貢献できる。
2.社会人として、常に新しい知識や技能を習得する意欲を持つ。	2-1.幼稚園教諭及び保育士としての使命や責任を理解している。 2-2.行事やボランティア活動に主体的に参加する。	2.教育改革の動向や学校教育の課題、求められる教員の資質・能力を理解し、自己研鑽できる。	2.向上心を持ち、ひとの立場に立って考えることができる。	2.医療秘書技能検定等の上位級が取得できる。
3.自分の職業の意義・役割を他人に説明することができる。	3-1.保育内容の各領域を理解している。 3-2.保育の表現技能を身につけている。	3-1.学校における養護教諭の役割や保健室の機能を明確に理解している。 3-2.医学・看護学についての基礎的知識や技能を身につけている。	3-1.法令に示されている歯科衛生士の使命、役割が理解できる。 3-2.口腔疾病の病態と原因並びにその予防法を説明できる。 3-3.歯科診療の流れを理解して、診療段階に応じた補助や指導ができる。	3-1.医療秘書の使命や役割を説明できる。 3-2.高い頻度で用いられる医学用語を説明できる。 3-3.ITを駆使して診療報酬の計算や文書作成などの事務処理ができる。 3-4.医療費の詳細を患者に説明できる。
4.社会生活に必要なコミュニケーション能力を保有する。	4-1.相手の立場に立ったコミュニケーションをとることができる。 4-2.チームで協働することができる。	4.自己表現力や他者理解力、チームワーク力を養い、適切な人間関係を構築することができる。	4-1.誰とでもコミュニケーションがとれる。 4-2.相手の話をよく聴き、自らの考えや思いを正しく伝え、相手と協調行動がとれる。 4-3.チーム医療における歯科衛生士の役割を理解し、看護、在宅、地域、学校保健などにおいて、その専門的役割を発揮することができる。	4.患者やその家族、あるいは医師や同僚などの様々な職種の人々と状況に応じた適切なコミュニケーションをとることができる。
5.社会で直面する様々な問題の解決を図ることができる。	5-1.子ども一人ひとりに応じた援助を考えられる。 5-2.地域や家庭と連携するための方法を理解している。	5.専門的な知識や技能、情報を活用し、課題の解決を図ることができる。	5.社会における歯科衛生士の役割と責任をつねに自覚し、新たな課題とその対応法を見出すことができる。	5.医療現場で患者一人ひとりに応じた援助ができる。